

# 家族のきずな Family

友人知人の家族をリレーでつなぎます

中野潤さん 優さん  
心優ちゃん 琉叶くん 優莉ちゃん (徳丸)

徳丸に住む中野さんファミリー。お互いを思い合って楽しい時間を過ごす仲良し家族です。

「いつも『ほんわか』していて、子どもにも優しい」と優さんのことを話す潤さん。一方、「子どもと遊んだり料理を作ったりしてくれる」と潤さんのことを話す優さん。両親の思いやりの気持ちは、子どもたちにも伝わっています。食事や洗濯など、仕事をしている優さんを進んで手伝う心優ちゃんと琉叶くん。「心優は頼れる存在で、琉叶も姉妹のことを思って行動してくれる」と優さんもほほ笑みます。2人は妹の優莉ちゃんが大好きで、取り合いながら、ご飯やお風呂のお世話もしています。

休日には、潤さんが加わり楽しい時間が始まります。店長となった潤さんが料理を作り、自宅に串揚げ屋やお寿司屋が開店します。「お寿司屋さんが好き」と心優ちゃんが話せば、「玉子が好き」と折り紙のお寿司を掲げる琉叶くん。優莉ちゃんの1歳の誕生日には、優さんと心優ちゃんの手作りケーキでお祝いする計画を立てるなど、家族でつくる楽しい時間は今後も続きます。

今回は、優さんのお友達、小池千栄さん＝西古泉＝ファミリーをご紹介します。



### ◎ PROFILE

なかの・じゅん 会社員。パーベキューをすることが好き。徳丸出身  
なかの・ゆう パート。料理・お菓子づくりが好き。伊予市出身  
なかの・みゆう 折り紙で花を作ることと図工が好き。小1  
なかの・りゅうと 折り紙で紙飛行機を作ることがブーム。4歳  
なかの・ゆうり 7月で1歳となる家族のアイドル

# Soft tennis



伊予地区中学校総合体育大会個人戦(ダブルス)で優勝した松前中学校3年生の青野翔さん。えひめ国体のターゲットエイジとして、国体への出場も目指しています。

小学校1年生のころから、ずっとテニスに打ち込んできた青野さん。「自分にはテニスしかない」と話し、中学校の部活動以外でも、週4回テニススクールで練習に励んでいます。努力を続ける青野さんは、今年、愛媛県選抜として都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会に出



# えひめ国体 注目のAthlete

えひめ国体に向け頑張る選手を紹介します

青野翔さん =松前中学校3年=

ソフトテニス(少年)は、今治市で開催。みんなで、地元の選手を応援しよう。

活動は1日単位で複数日も可

えひめ国体 松前町 検索

運営ボランティアも募集中(現在35人)。詳しくは国体推進課総務企画係(☎985-4153)まで。



場。全国の強豪と戦いました。「県によって戦い方が違うから難しい」と戦いを振り返る青野さんは、テニスノートをつけ始め、1日1日、自分のテニスを反省するようにしています。

現在の目標は、総体で全国大会に出場すること。県選抜の大会で痛感した全国の舞台での「精神面の大切さ」を、実践で体得しようとしています。そして、その先にあるえひめ国体での活躍を見据えて。「親に助けられながらテニスを続けてきた感謝の気持ちを伝えるため」、青野さんの挑戦は続きます。

# Statistics ( )は前月比

人の動き	男性	14,680人	(+5)
	女性	16,290人	(±0)
	合計	30,970人	(+5)
	世帯	13,235世帯	(+16)

松前町は平成72年に25,000人のまちを維持します

7月は、ひまわりの季節。町の花ひまわりが中川原のひよこたん池公園で咲き誇ります。みんなで出掛けて、松前町の魅力を再発見しませんか。



町内の魅力的な人、物、イベントを知っている人は、総務課広報情報係(☎985-4132)まで連絡してください。

# Payment 支払 ◎納期限内に納めてください

固定資産税	第2期
国民健康保険税(普通徴収)	第1期・全期
介護保険料(普通徴収)	第1期・全期
後期高齢者医療保険料(普通徴収)	第1期・全期

納期限 8月1日(月) 口座振替 7月25日(月)

### 表紙の写真

6月14日、青葉幼稚園の園児たちが恒例の田植えを行いました。清家真紀さん・梨愛ちゃん親子は、2人で協力して、丁寧に苗を植えていました。



# Boys&Girls, Be Kids Ambitious! 頑張る子どもを紹介します

岡田小3年・西高柳 まの か ひなた  
木口真乃加ちゃん 玉井陽向ちゃん

「バク転で宙を舞うー。体操が大好き」

岡田小学校3年生の木口真乃加ちゃんと玉井陽向ちゃん。小さな体で、軽やかに宙を舞う体操女子です。

幼稚園の体操教室で、「跳び箱や倒立をするのが好きだった」と話す真乃加ちゃん。2年生の終わりから、再び体操を始めています。今、頑張っているのはバク転です。「手のつく場所やジャンプをする高さに気を付けて、回るときには怖がらないようにしている」と話す真乃加ちゃんは、週2回の教室だけでは満足できず、家でもベッドで倒れ込みの練習をして技を磨いています。

「体を動かしたい」と、真乃加ちゃんより1年ほど早く教室に通っている陽向ちゃんは、「バク宙が1人でできるようになりたい」と話します。目標に向かって、教室でも家に帰っても、バク転と宙返りの練習や柔軟を続けています。「毎日練習してバク転ができるようになったから、バク宙も頑張りたい」と意気込みます。

「くるっと回るのが楽しい」とほほ笑む2人。怖さの先にある楽しさや達成感を原動力にして、これからも2人は宙を舞い続けます。

